

平成22年度

修学旅行の実施状況並びに「めざす修学旅行の
ための取組みについて」の調査結果

< 関修委・研究委員会報告 >

関東地区公立中学校修学旅行委員会研究委員会

(事務局: 財団法人全国修学旅行研究協会)

平成22年度 修学旅行の実施状況並びに「めざす 修学旅行のための取組みについて」のアンケート

実施 関東地区公立中学校修学旅行委員会
財団法人全国修学旅行研究協会

- ・当調査は、よりよい修学旅行を目指すための調査です。ご協力をお願いします。
- ・調査結果は、12月上旬頃 E-mail でご返信(報告)いたします。また、11月15日の関修委第46回修学旅行研究発表会にて報告するとともに、ホームページに掲載いたします。
(URL <http://shugakuryoko.com/>)
- ・回答内容は、統計的に集計するのみで学校名が特定されることはありません。調査票は集計後、裁断若しくは溶解処理いたします。

市町村名	市・町・村	学校名	中学校
ご記入者	1. 校長 2. その他(職名: _____)		
学校 Email アドレス			

記入方法 (1) 各設問の該当するものに○印をおつけください。(2) 記入欄は、文字(数字)でお答え下さい。

1. 平成22年度修学旅行実施の状況

実施の概況について ※この調査以降に実施の場合、予定をご記入ください。

実施時期	平成22年・23年 月 (日間)									
実施方面	1. 東北 2. 会津,日光 3. 伊豆,箱根 4. 信州 5. 北陸 6. 関西 7. 広島,関西 8. 広島 9. 海外 () 10. その他 ()									
訪問地										
宿泊地	1泊目		2泊目		3泊目					
旅行費用	生徒一人当たり平均額(体験活動費を含む) ¥									
不参加生徒数	名	内訳	経済的理由	名	不登校	名	病休	名	その他	名

2. 関西方面連合体の新大阪以西の利用について

現在、連合体は新大阪駅までの利用となっておりますが、新大阪以西(広島まで)の延長を委員会ではJRに働きかけています。ついては、広島まで延長が可能となった場合(平成25年度以降)、貴校の利用希望についてご意見をお聞かせください。

連合体(定期列車利用)として「関西・広島」のパターンで修学旅行を設定し、【1日目】東京→広島(所要約4時間)、【2日目】広島→新大阪・京都(所要約1時間45分)、【3日目】新大阪・京都→東京(所要2時間40分)、3回の新幹線利用を想定しています。

1. 連合体が「広島」まで利用可能となった場合、貴校は。
 - ア. 利用したい イ. 利用しない ウ. 検討する
2. 「ア. 利用したい場合」、現在の関西コースと比べると交通費が約6,600円(連合体割引きを適用)ほど増額となりますが、利用を希望されますか。
 - ア. 利用したい イ. 利用しない ウ. 検討する

平成22年度

『修学旅行実施に関する調査集計結果の分析と考察』

～感性をはぐくむ修学旅行の探究～

I 調査研究のねらい

新学習指導要領の実施にあたり、修学旅行においては、特別活動の目標を達成するために、ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、体験活動を充実させていくことが求められている。

昨年度は、修学旅行を実施するにあたって、かつて経験したことのない新型インフルエンザ発症に伴い、各学校が決断に至るまでの過程は困難を極めた。

関東地区の全中学校のうち約4割の学校が延期実施することとなった。

関東地区公立中学校修学旅行委員会では、これらを受けて各学校における対応についての実態調査を実施した。

毎年実施している調査研究と併せて二本立てで調査を実施し、関東地区公立中学校修学旅行研究発表会において発表を行った。本年度は、昨年に引き続き『感性をはぐくむ修学旅行の探究』をテーマに、充実した感動のある修学旅行の実現を図るため、生徒の感性に働きかける体験活動を各学校がどのように構築していこうとしているのか、どのような意図的な取り組みがなされているのか等調査・研究することとした。

訪問地で最も重視した活動内容はどのようなことか。さらに、修学旅行に向けた取り組みが学びにどのように反映されているのか等焦点を当てながら、各学校の特色ある取り組みについても調査する。

「修学旅行で何をねらいとしているのか」、「ねらい達成のためにどのような直接体験活動を取り入れているのか」大変興味深いものがある。調査により現在の中学校の修学旅行の姿を読み取ることができた。

また、神戸で震災学習を取り入れる学校や、広島で平和学習等取り入れている学校も徐々に出てきており関西以西への連合体輸送の可能性も探りつつ、神戸や広島等大阪以西への希望調査を継続実施している。さらに今年度から新たに茨城空港の開港に伴い、今後航空機利用が可能となった場合の航空機利用希望の調査も併せて実施し、資料として提供することとした。今後、各学校の修学旅行がさらに充実することをねらいに研究を行う。

平成22年度修学旅行の実施状況調査

II 調査状況

- 1、調査対象 関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
- 2、調査の時期 平成22年7月
- 3、調査内容
 - (1)平成22年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況
時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用・不参加生徒数
 - (2)連合体の新大阪以西の利用について
 - (3)将来の航空機利用について
 - (4)めざす修学旅行に向けての取組みについて

4、回答状況

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	233	166	174	423	383	1,379
回答校数	136	161	126	422	382	1,227
回答率	58.4%	97.0%	72.4%	99.8%	99.7%	89.0%
有効回答数	135	159	124	420	382	1,220
有効回答率	57.9%	95.8%	71.3%	99.3%	99.7%	88.5%

回答者

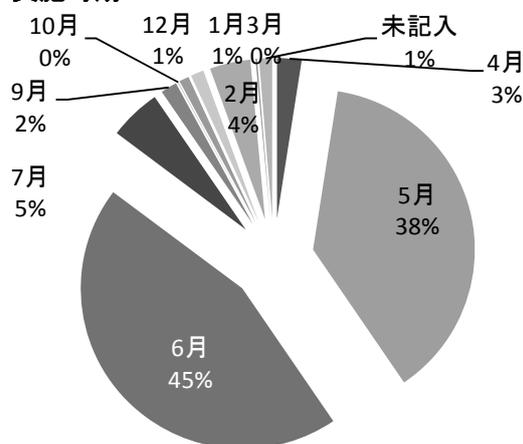
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
校長	12	54	19	210	164	459
その他	116	107	102	205	202	732
未記入	8	0	5	7	16	36

III 実施概況

1.実施時期

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
4月	2	26			2	30	2.4%
5月	37	11	40	80	299	467	38.1%
6月	95	88	80	215	71	549	44.7%
7月		29		35		64	5.2%
9月	1	4		15		20	1.6%
10月					1	1	0.1%
12月				12		12	1.0%
1月				12	4	16	1.3%
2月				49	1	50	4.1%
3月			1	1		2	0.2%
未記入	1	3	5	3	4	16	1.3%
合計	136	161	126	422	382	1227	100%

1.実施時期



2.実施日数

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
2日間		1			1	2	0.2%
3日間	134	157	122	420	377	1210	98.6%
4日間					2	2	0.2%
未記入	2	3	4	2	2	13	1.1%
合計	136	161	126	422	382	1227	100%

・全学校数の約90%が5月～7月に実施している。
中でも5月～6月に約83%の学校が実施しているのが目立ったところである。

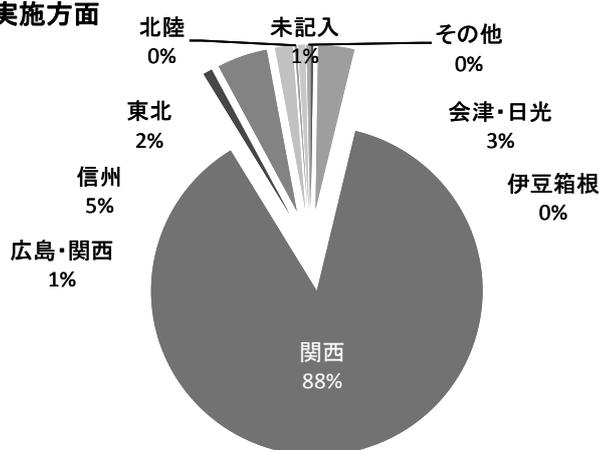
・実施日数は約99%が3日間の実施としている。

3.実施方面

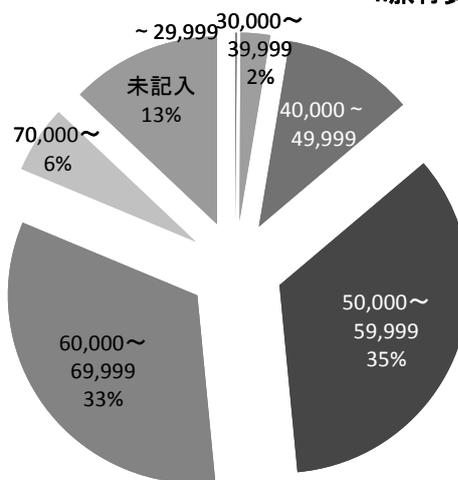
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
伊豆箱根			1		2	3	0.2%
会津・日光					43	43	3.5%
関西	135	154	119	418	248	1074	87.5%
広島・関西		5	2	2	2	11	0.9%
信州					60	60	4.9%
東北					21	21	1.7%
北陸					2	2	0.2%
未記入	1	2	4	2		9	0.7%
その他					4	4	0.3%
合計	136	161	126	422	382	1227	100%

・方面別にみると、関西(広島含む関西)方面が約90%と他を圧倒している。
 ・他に千葉県の信州、会津・日光、東北方面等。
 ・広島まで行っている学校は現在11校ある。
 ・栃木県から5校実施している。

3.実施方面



4.旅行費用



4.県別旅行費用(生徒一人当たり平均額)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
～29,999					1	1	0.1%
30,000～39,999			1	2	28	31	2.5%
40,000～49,999		1	3	67	66	137	11.2%
50,000～59,999	8	25	32	225	136	426	34.7%
60,000～69,999	84	78	64	83	94	403	32.8%
70,000～	28	30	9	1	3	71	5.8%
未記入	16	27	17	44	54	158	12.9%
合計	136	161	126	422	382	1227	100.0%

・県別費用区分は茨城、群馬、栃木県は平均の山が60,000～となっているが、
 継走列車等東京駅までの費用等により、
 埼玉・千葉県より増となっていることなどが考えられる。

・行き先方面によりかかる費用の差はあるが、
 全体の平均額は57,338円。

5.方面別旅行費用

	東北	会津日光	伊豆箱根	信州	北陸	関西	広島関西	未記入	その他	合計
～29,999			1							1
30,000～39,999	1	18	1	8		3				31
40,000～49,999	9	13	1	30		81			3	137
50,000～59,999	7	3	1	8		405	2			426
60,000～69,999	1	2				398	1	1		403
70,000～						66	5			71
未記入	3	6		14	2	121	3	8	1	158
合計	21	43	3	60	2	1074	11	9	4	1,227

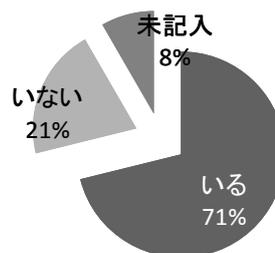
6.方面別費用平均

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	5県平均	最高額	最低額
伊豆箱根			32,000		46,000	41,333	52,000	32,000
会津・日光					40,005	40,005	60,000	29,000
関西	65,802	64,463	61,245	54,514	57,819	58,800	80,000	31,200
広島・関西		76,873	69,000	54,000	58,000	69,687	79,929	54,000
信州					43,870	43,870	56,000	36,000
東北					49,137	49,137	64,000	39,000
北陸								
その他					44,062	44,062	44,062	44,062
未記入			61,000			61,000	61,000	61,000
平均額	65,802	64,833	61,117	54,512	53,179	57,338	62,124	40,783

7-1.不参加生徒数の有無

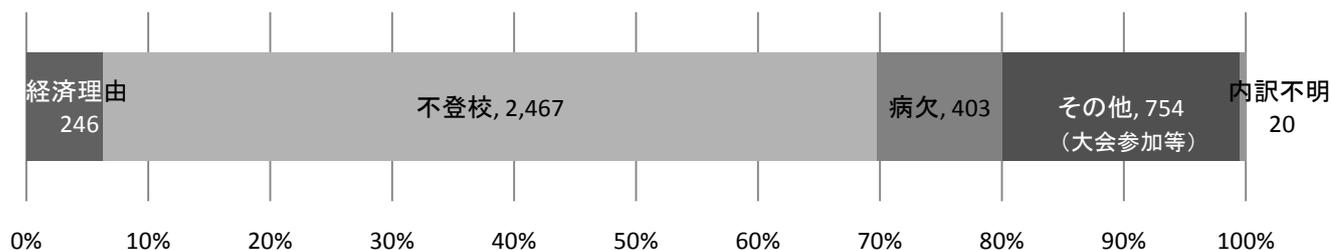
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
いる	98	111	72	288	304	873	71.1%
いない	35	44	51	51	71	252	20.5%
未記入	3	6	3	83	7	102	8.3%
合計	136	161	126	422	382	1227	100%

7.不参加生徒有無



7-2.理由別不参加の延べ校数と生徒数

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	
合計	学校数	98	111	72	288	304	873
	生徒数	364	454	305	1436	1236	3,795
経済理由	学校数	21	19	21	50	37	148
	生徒数	24	41	43	80	58	246
不登校	学校数	22	36	61	252	271	642
	生徒数	236	296	180	889	866	2,467
病欠	学校数	22	41	21	101	91	276
	生徒数	34	58	29	160	122	403
その他	学校数	34	38	24	132	107	335
	生徒数	57	159	54	295	189	754
内訳不明	学校数	1	0	0	6	1	8
	生徒数	13	0	0	6	1	20



7-2.理由別不参加割合

- 不参加生徒のいる学校数 (873校) は全学校の約70%となる。理由の主なものとしては不登校、病欠などがあるが、経済的なことや、大会参加等、複合的理由等諸々のことが重なっていることも考えられる。

8.方面別宿泊地
宿泊地(一泊目)

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
東北地方	青森					4	4	6.8%
						1	1	
						2	2	
						1	1	
	岩手					5	5	8.5%
						1	1	
						4	4	
	宮城					1	1	1.7%
		松島				1	1	
	山形					9	9	15.3%
		高畠町				1	1	
		上山				1	1	
		赤湯				1	1	
		蔵王				3	3	
		南陽町				1	1	
		(空白)				2	2	
	福島					40	40	67.8%
	会津				4	4		
	会津若松				4	4		
	猪苗代				3	3		
	東山温泉				12	12		
	南会津				3	3		
	北塩原				1	1		
	裏磐梯				9	9		
	(空白)				4	4		
関東	栃木					4	4	100.0%
	日光					4	4	
中部地方	新潟					4	4	6.1%
		阿賀町				1	1	
		十日町				1	1	
		妙高				1	1	
		(空白)				1	1	
	山梨					1	1	1.5%
		西湖				1	1	
	長野					54	54	81.8%
		安曇野				3	3	
		茅野				1	1	
		鬼無里				2	2	
		高山				1	1	
		黒姫高原				2	2	
		松本				2	2	
		上高地				7	7	
		上諏訪				3	3	
		乗鞍				2	2	
		諏訪				14	14	
		浅間				1	1	
		昼神温泉				1	1	
		長野				1	1	
		白樺高原				1	1	
		白馬				7	7	
		穂高				3	3	
		北志賀高原				1	1	
		(空白)				2	2	
	岐阜						6	6
	高山					2	2	
	高山市					3	3	
	白川郷					1	1	
静岡				1			1	1.5%
	妻良			1			1	

近畿地方	滋賀		1	2	1	11	14	29	2.7%
	草津						1	1	
	大津			1	1	6	7	15	
	琵琶湖						1	1	
	雄琴温泉						1	1	
	(空白)		1	1		5	4	11	
	京都		125	118	100	374	215	932	86.4%
	ユース					1		1	
	宇治			1		1	1	3	
	祇園						1	1	
	京都市				1			1	
	嵯峨野		1					1	
	三条		1					1	
	四条		1					1	
	中京区						1	1	
	嵐山						2	2	
	(空白)		122	117	99	372	210	920	
	大阪			2	2	2	4	10	0.9%
	新大阪						1	1	
	(空白)			2	2	2	3	9	
兵庫						1	1	0.1%	
南あわじ市						1	1		
(空白)									
奈良		8	32	17	32	18	107	9.9%	
信貴山						1	1		
(空白)		8	32	17	32	17	106		
中国	広島		4	1			5	100.0%	
(空白)			4	1			5		
未記入		1	3	4	3	2	13		
合計		135	161	126	422	382	1226		

宿泊地(二泊目)

		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
東北地方	青森					4	4	7.0%
	青森市					1	1	
	平川					3	3	
	岩手					5	5	8.8%
	遠野					2	2	
	花巻					2	2	
	雫石					1	1	
	山形					10	10	17.5%
	高島町					1	1	
	上山					1	1	
	蔵王					2	2	
	置賜					1	1	
	中津川					1	1	
	長井					1	1	
	飯豊町					1	1	
	(空白)					2	2	
	福島					38	38	66.7%
	会津					4	4	
	会津若松					3	3	
	七つ森					1	1	
猪苗代					1	1		
東山温泉					5	5		
南会津					2	2		
磐梯町					1	1		
北塩原					2	2		
裏磐梯					13	13		
(空白)					6	6		
関東	栃木					4	4	57.1%
日光						4	4	
群馬						1	1	14.3%
草津						1	1	
神奈川				1		1	2	28.6%
箱根町				1		1	2	

中部地方	新潟					5	5	7.9%
	阿賀町					2	2	
	十日町					1	1	
	妙高					1	1	
	(空白)					1	1	
	長野					58	58	92.1%
	安曇野市					3	3	
	茅野市					1	1	
	黒姫高原					1	1	
	黒部					1	1	
	車山					1	1	
	女神湖					4	4	
	松本					1	1	
	上高地					3	3	
	上諏訪					8	8	
	乗鞍					6	6	
	諏訪					10	10	
	大岡					1	1	
	大町市					1	1	
	白樺高原					1	1	
白馬					9	9		
穂高					3	3		
北志賀高原					1	1		
立科					2	2		
(空白)					1	1		
近畿地方	滋賀		1	1	12	13	27	2.5%
	守山				1		1	
	草津					1	1	
	大津		1	1	5	5	12	
	琵琶湖					1	1	
	雄琴温泉					1	1	
	(空白)				6	5	11	
	京都	131	154	117	394	231	1027	94.7%
	ユース				1		1	
	宇治		1		1	1	3	
	亀岡					1	1	
	祇園					1	1	
	京都市			1		1	2	
	嵯峨野	1					1	
	三条	1					1	
	四条	2					2	
	大原					1	1	
	中京区					1	1	
	嵐山					2	2	
	(空白)	127	153	116	392	223	1011	
	大阪			1	1	2	4	0.4%
	新大阪					1	1	
	(空白)			1	1	1	3	
	兵庫				1	4	5	0.5%
	南あわじ市					1	1	
	神戸				1	3	4	
	(空白)							
奈良	3	2	2	11	3	21	1.9%	
(空白)	3	2	2	11	3	21		
未記入	1	4	4	3	2	14		
合計	135	161	126	422	381	1225		

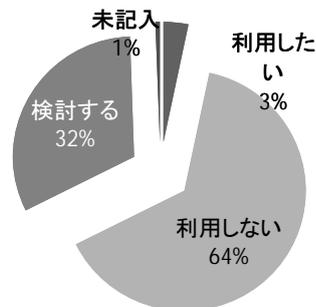
宿泊地(三泊目)

関東 近畿	栃木					1	1	50.0%
	日光					1	1	
	京都					1	1	50.0%
	草津					1	1	
合計						2	2	100.0%

IV 連合体の新大阪以西の利用について

1. 広島まで利用可能となった場合

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
利用したい	5	10	11	6	8	40
利用しない	78	93	85	270	258	784
検討する	52	58	29	143	105	387
未記入	0	0	0	3	4	7



1. 広島まで利用可能となった場合

2. 増額となるが利用希望されるか

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
利用したい	3	8	0	2	6	19
利用しない	0	0	0	1	1	2
検討する	2	2	11	3	1	19
未記入	0	0	0	0	0	0

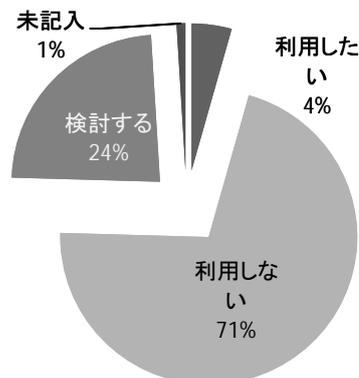
- ・1の利用可能となった場合、利用したい、あるいは、検討する、と答えた学校が427校（35%）とかなりの学校が関心を示していることが分かる。22年度現在、広島方面実施校が11校でありさらに、30校ぐらいの増が見込め、検討するとしている学校など考えると今後増加が考えられる。
- ・2では「増額となるが利用希望されるか」とかなり具体的金額を示した上での調査であるが約40校の学校が利用したい、あるいは検討したいとしている。

* 関修委修学旅行委員会として、毎年JR東海等へ要望書を提出したり、JRとの意見交換会等で要望等行っているが、一刻も早く実現に向けて、今後とも継続して要望をしていく必要がある。

3. 将来の航空機利用について

3-1. 将来航空機を利用したいか

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
利用したい	16	9	4	8	16	53
利用しない	60	100	91	330	285	866
検討する	52	52	29	84	70	287
未記入	7	0	1	0	4	12



3-1. 将来航空機を利用したいか

3-2. 利用したい空港について

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
羽田空港	0	5	7	8	20	40
茨城空港	16	2	0	0	1	19
その他	0	3	1	0	2	6

その他：成田空港×2、福島空港×3、未定×1

3-3. 飛行機での行先は

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
奈良京都方面	12	4	2	2	3	23
広島方面	5	2	2	1	6	16
九州方面	2	2	1	9	10	24
その他	1	3	4	2	9	19

その他：北海道×4、東北方面×1、沖縄×5、北海道・沖縄×1、韓国×1、中華人民共和国×1、未定・検討×6

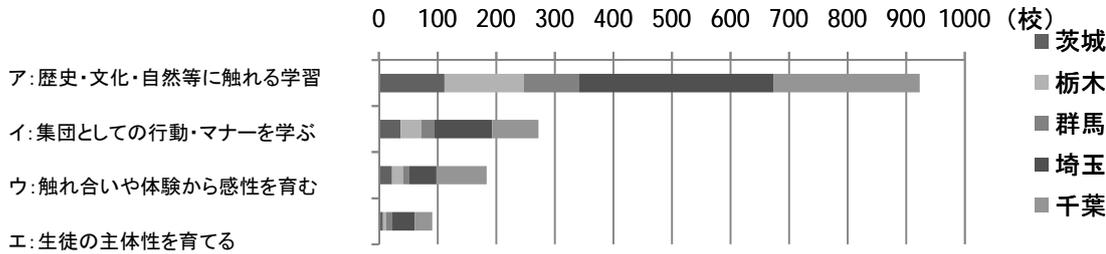
- ・将来、航空機利用が可能となった場合という条件付きであるが、航空機を利用したいと考えている学校は53校（4.3%）と少ない。検討したいと考える学校は287校ある。
- ・利用したいと考えている学校では茨城県、千葉県のそれぞれ16校が他県より2倍あるいはそれ以上多い。
- ・北海道、沖縄、海外等へと考えている学校もある。

* 今後の修学旅行のあり方等での検討や、連合体として、航空機利用による輸送や旅費等が高騰しなくて実施していける計画など検討、さらには提示していくことも必要であろう。

V めざす修学旅行に向けての取組みについて

1. 修学旅行で最も期待する内容は(複数回答あり)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア: 歴史・文化・自然等に触れる学習	112	135	95	331	250	923
イ: 集団としての行動・マナーを学ぶ	37	35	23	98	79	272
ウ: 触れ合いや体験から感性を育む	22	19	11	46	86	184
エ: 生徒の主体性を育てる	7	5	11	38	30	91



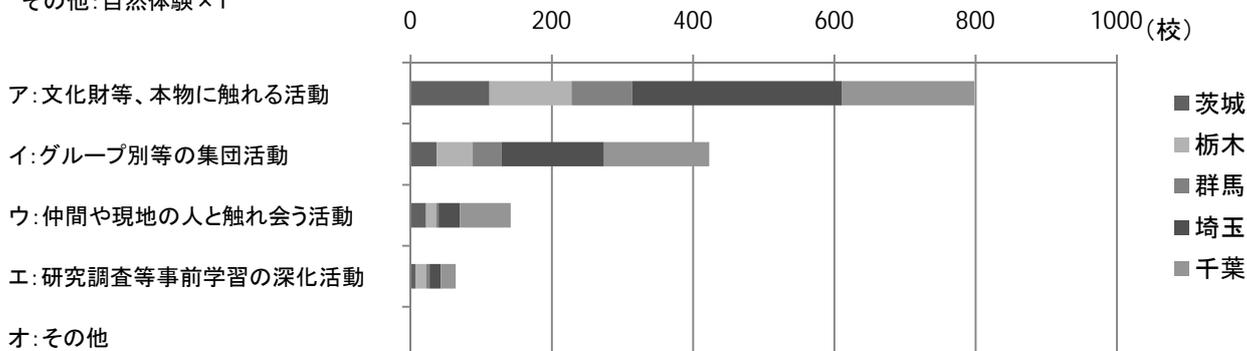
1. 最も期待する内容

- ・各県共通して多いのは、アの「学校の学習では得ることのできない歴史・文化・自然等に直接触れる学習ができる」が923校と最も多い。
- ・次に、イの「集団としての行動のあり方や道徳的マナーが学べる」が272校であった。関東地区の中学校では修学旅行の実施方面についてみると、関西方面が約90%、次いで信州方面4.9%、会津・日光方面3.5%、東北方面1.7%といった状況である。関西方面が他を圧倒しており、京都・奈良での歴史、文化に直接触れる学習が最も期待できるというのが多くの理由である。

2. 訪問地で最も重視した活動は(複数回答あり)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア: 文化財等、本物に触れる活動	112	116	86	297	187	798
イ: グループ別等の集団活動	37	51	41	145	149	423
ウ: 仲間や現地の人と触れ合う活動	22	14	4	30	72	142
エ: 研究調査等事前学習の深化活動	7	15	5	16	21	64
オ: その他	0	0	0	0	1	1

その他: 自然体験×1

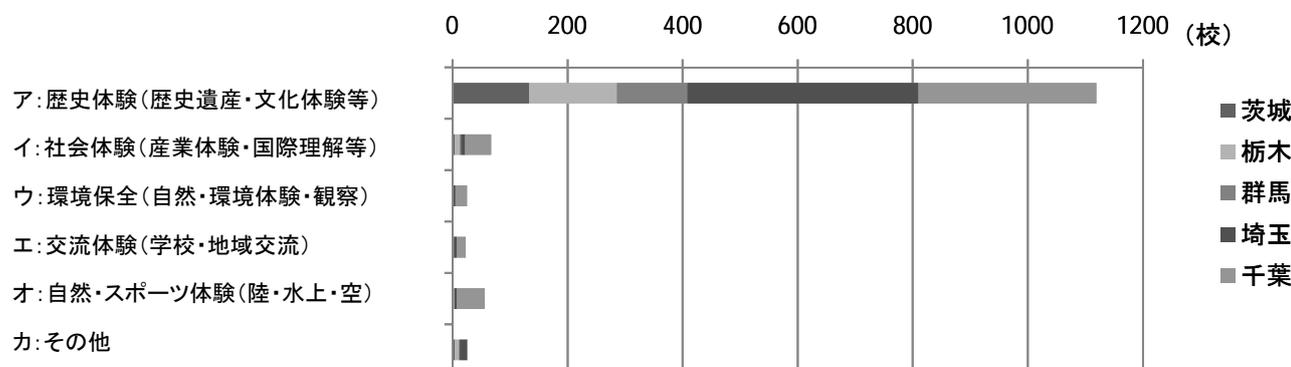


- ・1の項目に関連したもので、訪問地で具体的に最も重視した活動について問うものであるが、最も多かったのはアの「文化遺産・文化財、本物に触れさせることを重視した活動」が798校と最も多い。続いて、イの「班別体験、集団行動、マナーを重視した活動」が423校あった。
- ・アとイの項目を重視することは現在の修学旅行の行動様式等からも大いに考えられることであるが、“体験を通して感性をはぐくむ”ことを重視するという学校も近年増加の傾向にある。
- ・3. 「期待に向けて重視した活動」と4. 「特色ある取組み」の設問から考えられることは行動様式を班別行動としながら、班別の事前学習等充実させて生徒同士のコミュニケーションを図りつつ文化遺産等本物に触れさせたいという意向がうかがえる。
- ・生徒の主体性や集団としてのマナーを身につけさせたいという学校の願いも考えられる。現地の触れ合いも期待したい、というのが近年でできている。

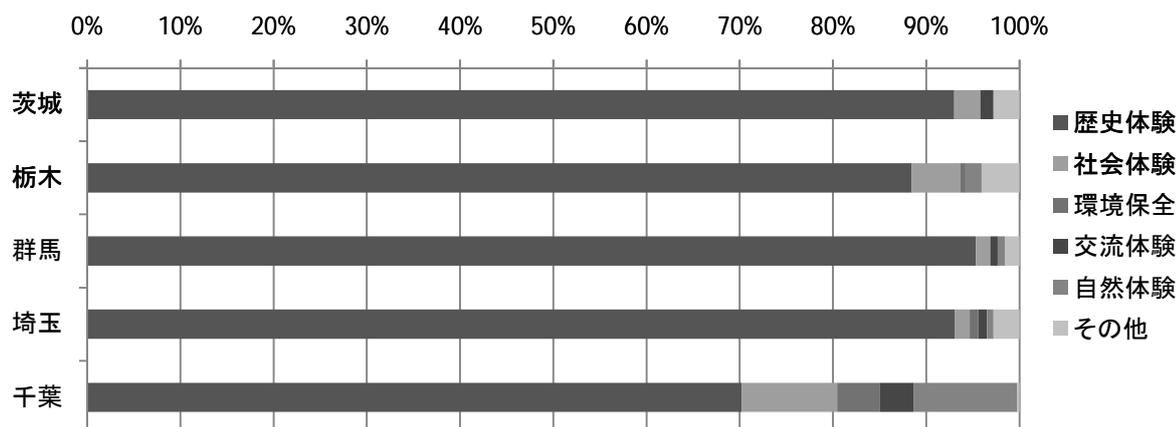
3.修学旅行で組み込んだ直接体験活動は(複数回答あり)

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
ア:歴史体験(歴史遺産・文化体験等)	133	153	122	402	309	1,119
イ:社会体験(産業体験・国際理解等)	4	9	2	7	45	67
ウ:環境保全(自然・環境体験・観察)	0	1	0	4	20	25
エ:交流体験(学校・地域交流)	2	0	1	4	16	23
オ:自然・スポーツ体験(陸・水上・空)	0	3	1	3	49	56
カ:その他	4	7	2	12	1	26

その他:座禅×7、清水焼×3、漫才観劇×2、創作活動×1、琵琶湖クルーズ×1、ペンション×1



3-1.組み込んだ直接体験



3-2.体験毎の割合(県別)

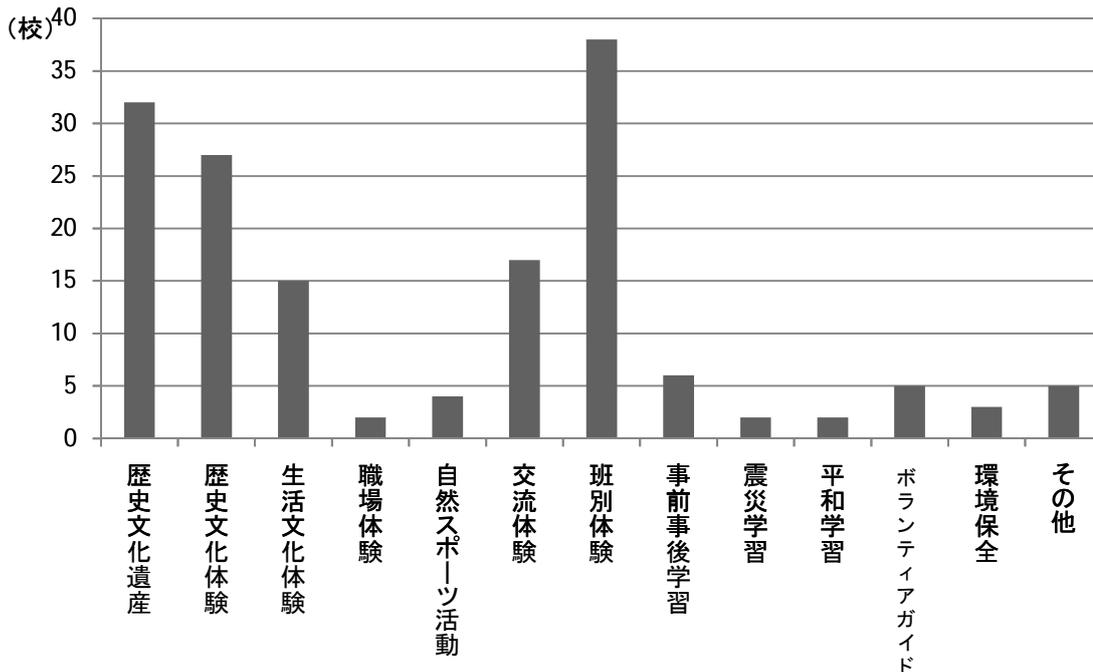
- ・直接体験活動として各県圧倒的に多かったのは、アの歴史文化体験で1119校であった。京都、奈良でないと体験できない体験活動を取り入れて、工夫を凝らしている学校も多くみられる。また、漫才観劇等取り入れている学校もある。
- ・千葉県の学校の環境保全(自然・環境体験・観察)や自然・スポーツ体験活動が多く見られるのは行き先の異なる(信州、東北方面)ことによる要因が大きい。学校のねらいによって当然行き先、直接体験活動の種類も変わってくる。

4.特色ある取組みについて

歴史文化遺産	32	能楽鑑賞・舞妓鑑賞・諏訪太鼓・座禅体験・説法
歴史文化体験	27	赤べこ制作・着物着用し、そのまま帰校・和菓子作り・絵付け・友禅染
生活文化体験	15	農業体験
職場体験	2	地場産業等の一日体験・工房訪問
自然スポーツ活動	4	アウトドアスポーツ・カヌー・男体山登山
交流体験	17	大学生との合唱交流・地元小中学生との交流・舞妓さんとの交流
事前事後学習	6	個人レポート・紀行文作成・劇化発表会等・句集作成
震災学習	2	神戸 人と防災未来センター・講演
平和学習	2	国際平和ミュージアム(京都市内)・折り鶴奉納、合唱
ボランティアガイド活用	5	退職教員によるガイド・学生ガイド活用
環境保全	3	箸持参での行動・京都で植樹
その他	5	テーブルマナー講習、夜間・早朝の参拝、おつとめ体験

※複数回答あり、自由回答

4.特色ある取組みについて



- ・特色ある取組みとして、どのような取組みが行われたかを問う項目であるが、各県とも歴史文化遺産の体験と班別による体験が行われている。中でも、僧侶の法話、絵付け、八橋づくり、座禅体験、能体験、京扇子づくり、舞妓さん鑑賞、紀行文づくり、和菓子づくり等している学校が多く見られた。
- ・今年度は「平城京遷都1300年祭」の年にあたり、見学コースに平城京遷都1300年祭を取り入れた学校も多く見られた。
- ・平和学習として京都市内の平和ミュージアムを見学したり、防災学習として神戸で語り部の方から話を聞いたり、「人と防災センター」（神戸市）で疑似体験をしたり、宮大工棟梁の講演を聞いたりするという新たな取組みも見られた。
- ・世界遺産を前に献茶式を行うなど、世界遺産に触れる体験をして生徒の感動を呼び起こす試みをした学校もあった。

VI 修学旅行実施にあたりJRや旅行会社への要望(原文まま)

JR
新幹線の割りふりを土日にしなくてほしい。
列車内で他校との間隔を開けて欲しい。
喫煙車両は避けて欲しい。(たばこの匂い残っている)
同一車両に他校を入れないで欲しい。
日時をある程度の幅から選択できるようにしてほしい。
列車の停車時間をもう少し短くしてほしい。
列車内でのサービスの工夫(沿線案内等)
帰りの列車の時間の短縮。乗り心地の良い列車。
一般客と分けてもらえると助かります。
JR京葉線の利用に対して日曜出発ではなく、平日でも可能に。
少しでも、時間短縮できると良い。
同一車両に同一校を希望する
専用列車の時間帯の選択肢を増やして貰いたい。
東北新幹線 青森までの利用を可能にして欲しい
専用列車の時間帯の選択肢を増やして貰いたい。
新幹線で乗り合わせる学校名を教えてください。
生徒数が少ないので新幹線の車両をひとつに
新幹線車両の座席配置の配慮
専用列車の申し込みを1ヶ月でも遅らせて頂きたい。
班別利用割引
駅の停車時間に余裕を、車内弁当をおいしく
電車の利用時刻を柔軟に
車両の変更をなくしてほしい
一般客との相席は避けたい
団体列車の東京駅乗り入れ
専用列車以外も同一料金、実施期間の希望を叶える
喫煙車両の使用は避けてほしい
常磐線の臨時列車のスピードアップ
水戸～上野間の時間短縮
新幹線の喫煙車両の使用を避けたい
新幹線の座席割りが学校別でお願いしたい
座席割り当てを早くして欲しい
全クラスが同じ新幹線に乗れるようにして欲しい
朝の新幹線の指定席が欲しい
東京・京都駅構内における集合場所の確保
京都駅での待機場所の確保
宇都宮から東京まで同一列車に乗れるようにして欲しい
新幹線車両の増量
車両変更が2～3回あった
東北新幹線も専用を車両を用意して欲しい
新幹線の喫煙車両から離して欲しい
車内のたばこのにおいがきつかった
東京駅で待機時間が長い 待機場所の確保
新幹線で同乗する学校を早めに教えて欲しい
東北新幹線は生徒全員同じ車両にして欲しい
2つの車両にまたがらないような座席の割り振りにして欲しい
新幹線で同乗する学校を知らせていただきたい。
JR西日本の団体券の発行にもう少し融通がほしい。
新幹線で一般客と一緒に、お互いに迷惑である。
安全に集合しやすい場所の情報をお願いします。
JR料金が高い
JR利用で、なるべく1車両1校にしてほしい。
新幹線料金がもっと安くならないか。
新学期がスタートして、あまり早い時期に組み込まれると、生徒の主体性を出す準備が難しい。
各学校の希望する日時に修学旅行専用列車を利用できるとよい。
日程の希望を少しは取り入れて欲しい
列車が希望通りいかず、早朝や遅い列車になってしまう。
一般客との乗り合いは避けてほしい。他校との乗り合わせもできるだけ考慮願いたい。
引き続き修学旅行専用列車の運行と料金割引をお願いいたします。
新幹線で、一般客とは別にして欲しかった。
JR東海のCMをDVDにして事前学習に役立てたい。
団体専用列車については、停車時間等、長くできないか。
東京駅までの接続時間の短縮
帰り東京駅よりバス利用、駐車場までが遠い
一般車両でないほうがよかった
JR様等たいへん親切にいただいている
駅集合場所の確保 緊急時の対応体制

旅行会社

神戸、大阪、京都を含んだ企画を提案してほしい。
ラッシュ時の人員配置。希望する形態の宿泊施設。
体験学習で中学生向きなものをなるべく多く紹介してほしい。
期日時間の配慮
インフルエンザ等で急に延期になった時の救済
一般の旅行の費用の低下に比べ修学旅行費が変化していない。
民泊の予定を具体的に出してほしい。安全対策などの資料を早めに欲しい。
緊急時における臨機応変な対応
費用の面でバックアップして頂きたい
生徒が興味を持てる企画を提供してほしい
小規模校の為業者取り扱い少ない。長年1社相互甘え
担当の方は丁寧に教えて頂けると助かります。
体験学習も含めた、モデルコースを提示してくれると検討しやすい
様々な体験モデルコースの提示
できるだけ早く日程や車両、座席を知らせてほしい。
経費を低く抑えたい
現地での予定変更柔軟性を
宿泊先の変更の場合、事前の下見の計画
個人で行くよりも旅費が高い。海外や九州の方が安い理由は
ツアー並みの料金にならないか
当日キャンセル料の免除の検討
企画料をもっとやすくしてほしい
低価格のツアーが多い昨今、費用がかかりすぎる。
パック料金程度の旅行費用にはならないか
ホテル館内の選定に役立つ資料、映像があると良い
行事实施や生徒の変化等に細かく対応していただける業者が必要である。
市内の学校ができるだけ短期間で実施できるよう組んでほしい(部活等の市の行事が組めないため)
経費の面でももう少し安価にできないものか
一度だけの経験なので、形式的にならないように対応してほしい。
宿泊のホテルの立地、条件等満足のものをご用意いただきたい。学校による格差があると感じる。
公教育で実施している修学旅行であるにも関わらず、また、工夫やオリジナリティもほとんどなく
パッケージ化されているのに旅行業者の企画料、取り扱い手数料が極めて高額であること。
経費を下げる工夫を望む。
添乗員の質の向上と担当者以外の添乗員との打ち合わせを避けること
諸費用の引き下げを検討していただきたい。
もっと安くあげたい。高すぎる。
経済的負担が大きいため、修学旅行の日程や計画を再検討し、少しでも費用が軽減されるようお願いしたい
適切な業者側への申し込み 時期 方法等

旅館

京都の宿は企業努力が必要。今までのレベルであらうては、二泊三日で5万円以上だとやがて客が納得しなくなります。特に、食事のレベルがひどい。
ホテルの食事内容がひどい。
京都市街地に宿がとれない。
食事の中に虫が入っていた。安全への配慮をお願いしたい。
旅館等の設備 お風呂が少ない、狭い

VII まとめと今後の課題

今後の課題として、今回2回目の調査となったが、修学旅行への不参加生徒の状況を踏まえ、関東地区公立中学校修学旅行委員会として、経済的な理由による不参加生徒の減少のために、全国修学旅行研究協会や近畿地区公立中学校旅行委員会、東海三県中学校修学旅行委員会との連携を図りつつ、国庫補助金増額の陳情を図るとともに、継続要望に力を入れていきたい。

また、平和学習・震災学習の取り入れ等を考え、新大阪以西の連合体輸送や航空機等の利用を考えた輸送のあり方についても、協議を深めていく必要がある。

さらに、新学習指導要領の完全実施に向け、総合的な学習の時間減等を踏まえ、事前・事後学習の時間確保をいかに図っていくのか、生徒への学習指導のあり方等課題があげられる。

『修学旅行実施状況調査』 ～感性をはぐくむ修学旅行の探究～

今回の調査で、修学旅行のねらいを達成するために、様々な体験活動を取り入れ、感性をはぐくむために、工夫・改善をしている。修学旅行で学んだ貴重な体験を今後の生活や学習の時間等に、どのように生かしていくかが、各学校にとって重要になろう。今、学校においては少子化から生まれる様々な課題が、生徒だけではなく若い親の世代にも大きな課題として投げかけられている。

決して子どもだけの問題ではなく、社会全体がもっと真剣に子どもたちに目を向け、関わり合いを作っていかなければならないだろう。そのためにも、修学旅行への取り組みだけで終わってしまう事のないよう、その後の子どもの活動する力、創造する力へと伸長し、社会との関わりをしっかりと見据えた中での自分を見つめていけるよう願っている。

修学旅行をとおして、生徒一人一人がさらに感性を磨き、大きく成長することを願い、調査研究の報告とします。